

【塚口さんさんタウン】

地域中心で取り組んだ放置自転車対策

導入事業者名	尼崎都市開発株式会社
導入場所	塚口さんさんタウン
■施設名	エコステーション21 塚口さんさんタウン
■住所	兵庫県尼崎市
■沿線/駅	阪急神戸本線/塚口駅
導入時期	平成21年10月15日
導入台数	自転車1,790台 原付73台 バイク11台

導入後

《導入後の改善点》

機械式駐輪機を設置する事で、施設利用者以外の長時間駐輪車両や放置自転車等を既存駐輪場へ自発的に誘導することに成功すると共に、歩いてこれる距離でも自転車を利用されていた方々などの乗り控え効果も手伝い、放置自転車が激減した。その結果、機械化前は、駐輪する場所が無く結果放置につながっていた施設利用者の駐輪スペースが確保され、安全で安心な駅前空間（歩行空間）が創生された。同時に、駅前広場の美観も大きく変貌と遂げた。

《導入理由》

尼崎北部の玄関口である阪急塚口駅前に立地する塚口さんさんタウンは、駅前ショッピングモールである事から、施設周辺及び駅前広場には、施設利用者の自転車は元より、駅利用者の自転車が大量に駐輪されていた。当然、施設及び尼崎市により人回戦術で自転車整理に取り組んでいたものの、長年放置駐輪問題に悩まされていた。そこで、安全・安心な街づくりを目指し、地元・行政・警察が一体となり協議を重ね施設周辺及び駅前広場の公道上に機械式駐輪機を設置する事が決定した。この決定は、道路法施行令が改正となり、歩道上に民間事業者が駐輪場を整備できるようにもなったことも後押しとなった。



導入前



【塚口さんさんタウン】

導入前



導入後

